

経営比較分析表／団体全体（令和4年度決算）

福島県 西郷村

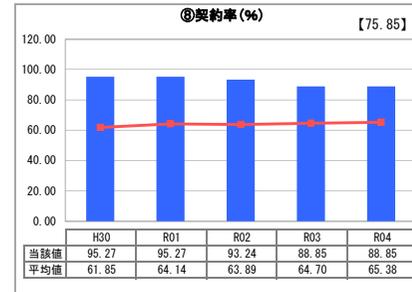
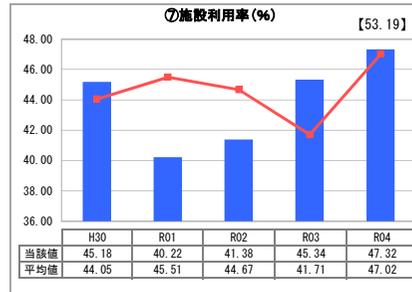
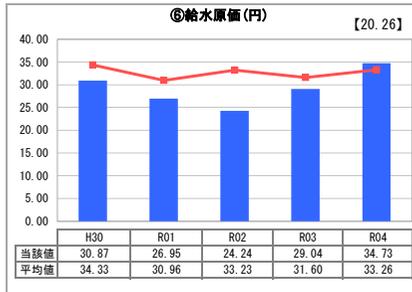
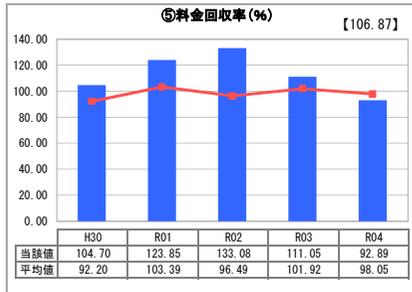
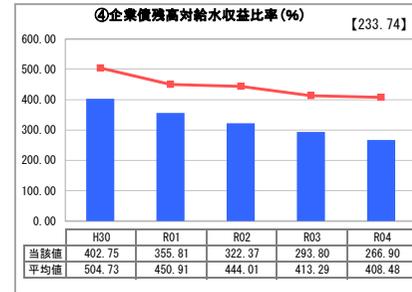
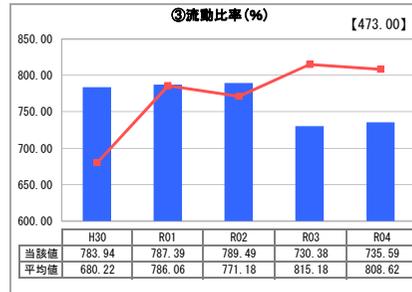
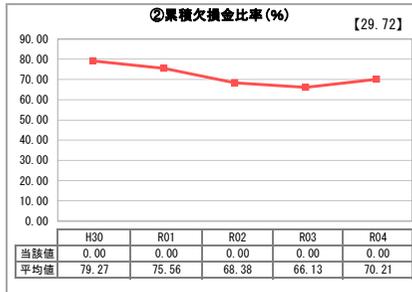
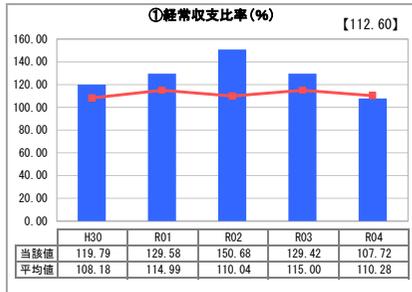
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	29,600	小規模	3	14,007
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	71.0	4	26,300	非設置	

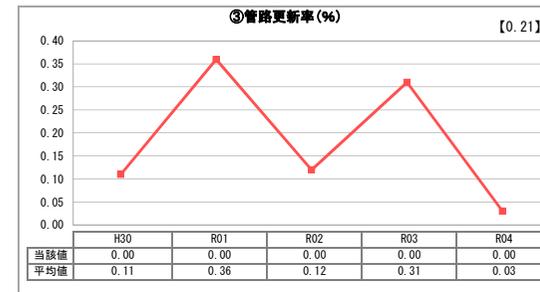
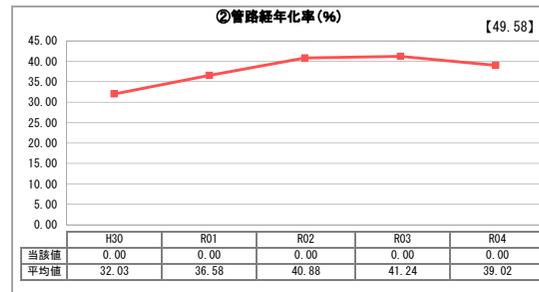
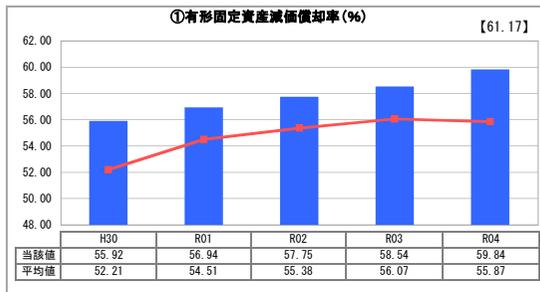
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率：現在に至るまで100%を超えており黒字経営であるが、令和4年度は昨年度と比較し急激に数値が下降しており、費用削減等の見直しを行う必要がある。
 ② 累積欠損金比率：0%のため、今後も健全経営に努める。
 ③ 流動比率：短期債務に対して十分な支払能力を有しているとされる概ね200%の水準を大幅に超えて確保しており、短期債務に対する支払能力は良好であるといえる。
 ④ 企業債残高対給水収益比率：類似団体と比べて低く、毎年度、比率は減少傾向にある。今後も適正な借入に努めていく。
 ⑤ 料金回収率：昨年度までは100%を超えており類似団体も上回っていたが、令和4年度においては100%を下回っており、料金水準を適正化する必要がある。
 ⑥ 給水原価：近年上昇傾向にあり、令和4年度は類似団体も上回った。費用抑制のための見直しを行っていく必要がある。
 ⑦ 施設利用率：ここ数年は上昇傾向にあり、令和4年度については類似団体及び全国平均と同程度程度の利用となっている。
 ⑧ 契約率：事業所の契約水量の減少により令和3年度以降はそれ以前と比較し数値が低くなっている。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率：増加傾向にあることから、老朽化が徐々に進行している状況にある。類似団体や全国平均と同程度の経年率となっている。
 ② 管路経年率：③ 管路更新率：経年率は残存していない状況にあり、今後はアセットマネジメントの結果を基にした計画的な改良、更新を図っていく必要がある。

全体総括

現状では経営の健全化、効率化については概ね良好であると考えられるが、今後はユーザー企業の節水や生産ラインの合理化等、契約水量の減少が見込まれる可能性もあるため、将来の安定的な収入の確保に努めたい。
 なお、大平工業用水道事業においては令和5年度より料金改定の実施あり、他事業も含めて今後も定期的な見直しを行っていく。
 また、老朽化については有形固定資産減価償却率が増加傾向にあることから、優先順位や投資規模等を考慮しつつ施設の改良、更新を進め施設の効率性を高めながら将来の運営体制や投資の在り方について検討していく必要があると考えられる。